FREE QUICK REFERENCE

イベント現場のことば早見表

hyten

当日の進行から登壇・配信・集客まで、よく使う79語をひとことで

当日の使い方

- **印刷して、進行表やカンペと一緒に手元に。**打ち合わせや本番で分からない言葉が出たら、その場で引けます。
- **はじめて運営に入る人に、前もって渡しておく。**社内の手伝いや新しく入ったスタッフと、言葉をそろえておけます。
- **使い方や似た言葉との違いは、用語集のページに。**各まとまりの右上のURLから開けます。

01 カンファレンスの現場

hyten.jp/yougo/conference/

カンファレンスの企画会議や当日の現場で、当たり前のように飛び交う言葉。

アテンド
イベントで、登壇者やゲストに付き添い、着いてから帰るまでの会場での動きを案内すること。また、その役の人。

入り時間 いりじかん
登壇者やスタッフが、イベントの会場に着く時刻。参加者が入れる開場の時刻より前に、人ごとに決めて伝える。

運営マニュアル うんえいまにゅある
イベント当日に運営のスタッフが見る手引き。体制と連絡先、持ち場ごとの仕事、困ったときの対応をまとめたもの。

MC
イベントの開会から閉会までを進める進行役。枠と枠のあいだをつなぎ、参加者が迷わないように案内する。

押す おす
進行が予定の時刻より遅れていること。「いま5分押しです」のように、遅れている分数とあわせて使う。

影ナレ かげなれ
姿を見せずにマイクだけで流す案内。開演前の注意事項や、開演を知らせるアナウンスに使う。

カンペ
司会や登壇者に向けて、残り時間や指示を書いて見せる紙。客席の後ろなど、話す人の目に入る位置で掲げる。

基調講演 きちょうこうえん
カンファレンスなどで、その日のテーマの方向を示す講演。冒頭に置かれることが多く、英語ではキーノートと呼ぶ。

キュー出し きゅーだし
話し始めや映像・音楽の切り替えのタイミングを、決めた合図で伝えること。進行の責任者から司会やスタッフへ出す。

ゲネプロ
本番と同じ流れ・機材・時間で、最初から最後まで通して行う最後のリハーサル。会社のイベントでは「通しリハ」とも言う。

懇親会 こんしんかい
カンファレンスやセミナーのあとに、参加者・登壇者・主催者がくつろいで話す会。講演の場では聞けなかった話が出やすい。

セッション
カンファレンスのプログラムを組み立てる1つの枠。講演やパネルディスカッションなど、形を問わずにこう呼ぶ。

タイスケ
タイムスケジュールを縮めた現場の言い方。イベント当日の予定を、時刻の順に並べた表のこと。

タイムキーパー
時間を計り、残り時間を知らせる係。イベントでは壇上の登壇者に、会議では参加者全員に残り時間を見せる。

場当たり ばあたり
会場で、場面ごとに止めながら、立つ位置・マイク・切り替えの段取りを確かめるリハーサル。

分科会 ぶんかかい
カンファレンスや大会で、参加者がテーマごとに分かれて行う会。聞くだけでなく、参加者どうしで話し合う形をとることも多い。

前説 まえせつ
本番が始まる前に、客席へ向けて行う案内や話。注意事項を伝え、参加者が聞く準備を整えるための時間。

巻く まく
進行を予定より早めること。また、予定より早く進んでいること。「巻きで」「3分巻いてください」のように使う。

02 登壇・プレゼン

hyten.jp/yougo/pitch/

登壇を頼む側・頼まれた側の両方が知っておきたい言葉。

エレベーターピッチ
エレベーターに乗っているほどの短い時間で、自分や事業が何者かを伝え、相手に「もう少し聞きたい」と思ってもらうための話。

演台 えんだい
講演や発表をする人の前に置く台。原稿やパソコンを置いたり、マイクを付けたりして、話す人の手元を支える。

キーメッセージ
講演やプレゼンで、聞き手にいちばん持ち帰ってほしいことを一文にしたもの。話の組み立てやスライドは、この一文から決める。

質疑応答 しつぎおうとう
講演や発表のあとに、聞き手が質問をして、話し手がその場で答えること。プログラムや進行表では「質疑」と略して書くことも多い。

つかみ（プレゼン）
話の冒頭で、聞き手の関心を引きつける部分。「この話は自分に関係がある」と思ってもらい、本題を聞く姿勢をつくる。

登壇者 とうだんしゃ
イベントやセミナーで壇上に立って話す人。講演者・パネリスト・モデレーターなど、話す形式を問わずに使う呼び方。

トークセッション
2人以上の話し手が、壇上で会話をするように話を進めるプログラムの形式。議論で意見を比べるより、やり取りの中から話を引き出す。

発表者ノート はっぴょうしゃのーと
スライドの各ページに付けておける、話す人だけが見るメモ。発表中は手元の画面に出し、聞き手に映る画面には出さない。

パネリスト
パネルディスカッションで壇上に並び、進行役の問いに自分の立場で答え、ほかの話し手と意見を交わす人。

ピッチデック
ピッチで使う、短い説明用のスライド一式。出資・提携・導入など、相手に次の一歩を決めてもらうために、事業の要点を少ない枚数にまとめたもの。

プロンプター
話す人の目の前に原稿を映し、顔を上げたまま読めるようにする装置。決まった文言を話すあいさつや、収録・配信で使う。

持ち時間 もちじかん
イベントやセミナーで、登壇者一人ひとりに割り当てられた話す時間。質疑を含むかどうかで、用意する話の量が変わる。

モデレーター
パネルディスカッションなどで、パネリストに問いを投げて議論をかみ合わせ、時間内に着地させる進行役。

ライトニングトーク
5分ほどの短い持ち時間で、1人ずつ次々に話す発表の形式。略してLT。ユーザー会や勉強会で、多くの人に話す機会をつくるときに使う。

ワンスライド・ワンメッセージ
1枚のスライドで伝えることを一つに絞る、資料の作り方の考え方。見出しを一文の主張にし、ほかの要素はそれを支えるものだけにする。

03 ウェビナー・セミナー

hyten.jp/yougo/webinar/

ウェビナーやセミナーを開いて届けるまでの、配信と運営の言葉。

アーカイブ配信 あーかいぶはいしん
ライブで開いたウェビナーやセミナーの録画を、終わったあとに見られるようにして届けること。「見逃し配信」とも呼ぶ。

ウェビナー
インターネットで配信するセミナー。ウェブ（web）とセミナー（seminar）を合わせた言葉で、「オンラインセミナー」「Webセミナー」とも呼ぶ。

疑似ライブ ぎじらいぶ
先に録画した講演の映像を、告知した日時に一斉に流す配信。参加者は同じ時間に集まって見て、質問はその場で受け付けることが多い。「擬似ライブ」とも書く。

Q&A機能 きゅーあんどえーきのう
ウェビナーの参加者が文字で質問を送り、主催者や登壇者が選んで答えるための、配信ツールの機能。チャットと分けて、質問だけを集められる。

共催セミナー きょうさいせみなー
2社以上が主催者として名前を並べ、企画・集客・当日の運営を分け合って開くセミナー。オンラインで開くものは「共催ウェビナー」とも呼ぶ。

共同ホスト きょうどうほすと
ウェビナーやオンライン会議で、ホストに近い操作ができる運営側の権限。参加者の管理やQ&Aの対応を、ホストと分け合うために付ける。

待機室 たいきしつ
ウェビナーやオンライン会議で、参加者がリンクを開いたあと、主催者に入室を許されるまで待つ場所。知らない人が入るのを防ぐために使う。

投票機能 とうひょうきのう
ウェビナーの最中に、参加者へ選択肢つきの問いを出し、その場で答えを集めて結果を見せられる配信ツールの機能。「ポーリング」とも呼ぶ。

配信オペレーター はいしんおぺれーたー
ウェビナーやハイブリッドのイベントで、配信の画面の切り替え・音・参加者の管理などを操作する担当。「配信担当」「配信スタッフ」とも呼ぶ。

配信テスト はいしんてすと
ウェビナーの本番の前に、配信の経路そのものが動くかを確かめること。音声・映像・回線と、参加者の側でどう見えるかを見る。

ハイブリッド開催 はいぶりっどかいさい
セミナーやイベントを、会場に来る参加者と、オンラインで見る参加者の両方に向けて、同時に開くこと。「会場・オンライン併用」とも言う。

ハンズオンセミナー
話を聞くだけでなく、参加者がその場で製品を操作したり、手順をなぞって作業したりする、手を動かすセミナー。

ブレイクアウトルーム
オンラインの会の途中で、参加者を少人数の部屋に分け、話し合ってもらう機能。時間が来ると全体の部屋に戻る。

リマインドメール
セミナーやウェビナーに申し込んだ人へ、開催が近いことを知らせ、参加を思い出してもらうメール。前日と当日の朝に送ることが多い。

04 イベントマーケ

hyten.jp/yougo/event-marketing/

セミナーや展示会で、集客から商談につなげるまでに使う言葉。

イベントレポート
イベントやセミナーのあとに、当日の内容や結果をまとめて伝える文書。社外に出す開催報告の記事と、社内に出す報告書がある。

オフラインイベント
参加者が会場に集まり、顔を合わせて開くイベント。「リアルイベント」「対面開催」「会場開催」とも言う。

協賛 きょうさん
催しの趣旨に賛同して、お金や物、サービスを出して支えること。代わりに社名やロゴの掲載、講演の枠などを得る。スポンサーとも言う。

個別相談会 こべつそうだんかい
セミナーやイベントに来た人と、1社ずつ・1人ずつ話す場。当日の終了後に開く形と、後日に日を改めて開く形がある。

サンクスメール
申込の直後や、イベント・セミナーの終了後に、お礼を伝えるために送るメール。次の一歩の案内まで書くものはフォローメールと呼ぶ。

商談化率 しょうだんかりつ
獲得したリード（見込み客）のうち、商談に進んだものの割合。イベントでは、参加者のうち商談につながった割合を指すことが多い。

ノーショー
予約や申込をしたのに、取り消しの連絡もなく当日来ないこと。また、その人。イベントやセミナーでは無断欠席を指す。

ハウスリスト
自社がすでに持っている、見込み客や顧客の連絡先の一覧。過去のイベントの参加者や、問い合わせた人、取引先などが入る。

フォローメール
イベントやセミナーのあとに、参加者との接点を次につなげるために送るメール。お礼に加えて、資料や次の一歩の案内を入れる。

ホットリード
関心と検討の度合いが高く、すぐに営業が連絡したほうがよい見込み客。温度の低い順に、コールド・ウォーム・ホットと分ける。

来場率 らいじょうりつ
申込制のイベントやセミナーで、申し込んだ人のうち、当日実際に会場へ来た人の割合。参加率とも言う。

リード
マーケティングで、見込み客のこと。名前や連絡先が分かっていて、これから関係を育てて商談につなげていく相手を指す。

05 コミュニティマーケ

hyten.jp/yougo/community-marketing/

ユーザー会やお客様のコミュニティを立ち上げ、続けるときの言葉。

エバンジェリスト
自社の製品や技術、その背景にある考え方を、社外に向けて分かりやすく語り広める役割の人。多くは社員が務める。

オフ会 おふかい
オンラインでつながっている人たちが、対面で実際に顔を合わせる集まり。「オフラインの会」を縮めた言葉。

オンラインコミュニティ
インターネット上の場で、同じ関心や立場の人がつながり、会と会のあいだもやりとりを続けるコミュニティ。

コアメンバー
コミュニティの中心になり、運営を一緒に考えてくれる少数の参加者。くり返し来て、ほかの人に声をかけてくれる人が多い。

交流会 こうりゅうかい
参加者どうしが知り合い、話すことそのものを目的にした集まり。初対面の人が多く、講演はないか短い。

コミュニティマネージャー
コミュニティの目的を決め、会員どうしの関係を育て、その価値を社内に伝える担当者。略して「コミマネ」とも呼ぶ。

ミートアップ
同じ関心を持つ人が集まる、話しやすさを大事にした小さな集まり。登壇よりも参加者同士の会話が中心。

もくもく会 もくもくかい
集まった人が、それぞれ自分の作業や学習を黙々と進める会。始めと終わりに、やることと進んだことを一言ずつ共有する。

ユーザー会 ゆーざーかい
製品やサービスを使っているお客様どうしが集まる会。使い方の共有や意見交換を、日時と場所を決めて行う。

ROM専（見る専） ろむせん
オンラインのコミュニティやSNSで、投稿を読むだけで、自分からは書き込まない人。「見る専」とも言う。

06 社内イベント

hyten.jp/yougo/internal/

キックオフ・オフサイト・ワークショップなど、社内の場で使う言葉。

アイスブレイク
会議や研修、ワークショップのはじめに、参加者の緊張をほぐして話しやすくするための、短いゲームや自己紹介、雑談。

オフサイトミーティング
ふだんの職場を離れた会場で、半日から数日かけて話し合い、決めるための会議。経営陣で開くものは経営合宿とも呼ぶ。

キックオフ
期やプロジェクトのはじまりに関係者が集まり、目標・役割・進め方をそろえること。その集まりをキックオフミーティングと呼ぶ。

グランドルール
会議やワークショップのはじめに全員で確かめる、その場だけの話し方の約束。「グラウンドルール」とも書く。

タウンホールミーティング
経営陣が社員の前で方針や考えを話し、社員からの質問にその場で答える、社内の対話の場。「タウンホール」とも言う。

チェックイン
会議やワークショップのはじめに、一人ひと言ずつ、いまの状態や気がかりを話す時間。終わりに話すのはチェックアウト。

パーキングロット
会議やワークショップで、今日の議題からそれた話題を、捨てずに書き留めておく場所。英語で「駐車場」の意味。

ファシリテーター
会議やワークショップで、いま何の話をしているかを全員に見える状態にし、時間内に次の担当まで決めて運ぶ進行役。

ラップアップ
会議や商談の終わりに、決まったことと、次に誰がいつまでに何をするかを、全員の前で確かめてまとめること。

ワークショップ
参加者が話を聞くだけでなく、手を動かして考えを出し合い、その場で何かを決めたり、つくったりする参加型の場。

+ 取り違えやすい組み合わせ

押す ／ 巻く
「押す」は進行が予定より遅れていること。「巻く」は予定より早めること。

影ナレ ／ 前説
影ナレは姿を見せずにマイクだけで流す案内。前説は本番前に客席へ向けて行う案内や話。

アーカイブ配信 ／ 疑似ライブ
アーカイブ配信は終わったあとに録画を見られるようにする。疑似ライブは録画を告知した日時に一斉に流す。

場当たり ／ ゲネプロ
場当たりは場面ごとに止めながら段取りを確かめ、ゲネプロは最初から最後まで通す。

MC ／ モデレーター
MCは開会から閉会までを進める進行役。モデレーターはパネルなどで議論をかみ合わせる進行役。

サンクスメール ／ フォローメール
サンクスメールはお礼を伝えるメール。資料や次の一歩の案内まで入れるのがフォローメール。

この現場だけのことばメモ

会場の部屋の呼び名や、チームの中での略し方など。前もって書いて、当日のスタッフと共有します。

ことば	意味・使い方

株式会社hyten｜事業成長につなげる場の立ち上げ

はじめての開催の設計から、2回目からの運営まで。社内の研修・ワークショップもお受けしています。

イベント初開催支援・運営代行
hyten.jp/event/

ウェビナー運営代行
hyten.jp/webinar/

コミュニティ立ち上げ支援
hyten.jp/community/

登壇・プレゼンのプロデュース
hyten.jp/ipp/

研修・ワークショップ
hyten.jp/training/

30分の無料相談
hyten.jp/contact/

言葉の意味は、hytenの用語集（hyten.jp/yougo/）から抜き出しています。